



# 動物園飼育日記 — 115 — 亀井一成



ないしょ話シリーズ <37>

おめでとう

オラン君に花嫁が



ずい分前から、いいお嫁さんが、いることを知って、  
“お見合写真”もちろん、カラー写真を送ったが、なし  
のつづで、一向にご返事が頂けない。いくらなんでも一  
年もたてば、なかばあきらめるのも無理からぬ話し。そ  
んなある日、オランウータンの「ミミ君」(7才)へ、  
まことに喜ばしい朗報が入った。

電話のあと、ひと目見たいと、豊橋市立動物園から、  
身元調べならぬ、性格や健康状態、それに、“いったい  
どんな顔だちの男や!”とけんぶんによつてきたのだ。  
そのお嫁さん育ての親である飼育担当の柴田技師は、  
当の「ミミ君」を見るなり、

「ウーン亀井さん、いい顔していますネ。オランウー  
タンでもこんなやさしい眼をしているの見はじめです。  
それに何処の動かないオランウータンに困っているの  
に、こんなによく動き、あばれまわるの見たとありま  
せんネ」と、実にうれしいこと言ってくれました。

やはり、その三日後、正式に「ミミちゃん」へのプロ  
ポーズが届いたのである。

### 「男二頭のやもめ暮し」

実は去る日、昭和45年7月。市内生田区北野町路上で  
満一才そこそこの赤ん坊オランウータンが“落ちてい  
た”。

船員がボルネオでトランジスタラジオと交換して連  
れ帰ったが、夜のうちに窓のすき間からヨチヨチ抜け出  
たのである。通りがかりのご婦人の通報でパトカーが生  
田署内に保護したが、まだ乳房のほしいこの赤ん坊オラ  
ン君、婦人警官にしがみついたままテコでも離れず大騒  
ぎとなった。

国際保護動物のことインドネシア政府の輸出証明もな  
く、密輸入というレッテルを貼られたこのオラン君税関  
より私の元に届けられたのはその翌朝のことだった。

ご承知のとおり、チンパンジーの人工飼育は神戸が日  
本最初。次にはオランウータンを生ませたい。そう夢見

ていた神戸にとつてはまことに幸運といえた。輸入禁止  
の現在も正式ルートでさえ入手できないその貴重なオラ  
ンウータンが、やってきたのだから、実は大歓迎だっ  
た。それは、4才のオス1頭が独り暮らし、何時の日に  
か、”つれあい”を待っていたからでもあった。

だが、オランウータンのオスはハンサム。メスは少々  
“おかちめんこ”と相場がきまつている。眼はぱっちり、  
二重まぶた。うわむきの長いまつ毛、それに両眼のあい  
だが広く、まことにやさしい顔だち、その眼を見て私は  
落胆した。顔だちからしてひと目でオスと分ったから  
で、やはり小さなシンボルをさげており、お嫁さんへの  
期待はまことにむなしく消え去ったことも今もって忘れ  
られない。

その赤ん坊オランの耳が特に小さいことから、「ミミ  
ちゃん」と名づけてやったが、それ以来満5年この方、  
3才年上のオス「ジュン」と、オスばかり、“やもめ”  
暮らしが続いていたのだ。

そこで、ひとつお嫁さんをと、「ジュン」(10才)「ミ  
ミ」(7才)の“つれあい”をひそかに探し求めている  
のである。もちろん、容姿端麗。至って健康と、“釣書”  
も添え、メスのオランウータン探しにけんめい。はから  
ずも、メスばかり2頭。そちらさまも適令期(9才)の  
メス、と6才のメスの媚探しのさなかであった、その豊  
橋動物園に白羽の矢を向けたのだ。

そして、ほんとにようやく、一年ののち、めでたく互  
いの縁談が成立。このほど、「ミミ」(7才)は豊橋動物  
園の2才年上のメス9才の元へ。そして、豊橋からは、  
神戸のオス10才の「ジュン」の元へメス(6才)という  
若い女の子が、入替えにやってきたのである。

### 「ミミ7才の初体験」

ここでもやはり、類人猿の性教育は本能と、そして眼  
で真似る学習とがあることを改めて私は知り得た。隣室  
の見透せるオリの構造から、チンパンジー一家からの性

教育を受けていたのだらう。オスばかりでありながら、9才の春、性的に成熟した「ジュン」が、さかんに交尾の真似ごとをやりはじめた。メスがいなく独り暮しの場合、時としてマスタベーションすら覚えてしまう心配をよそに、オスである年下の「ミニ」相手に、成獣の見せる正常な交尾行為をさかんに見せはじめた。だが、時折り代用にされる「ミニ」が激怒する風もあるので、そのせつなを詳しく観察して、私はおどろいてしまった。「ジュン」は、オスの「ミニ」の排出口へ本交尾をけんめいに示していたのだ。

だが、そうした一見不自然にも見えたオス同士の交尾行為が、後ほどお嫁さんをもらった際、まことにうまく役立ったにちがいない。生後7才、(オランウータンは9~10才で成獣)人間でいえば小学6年という「ミニちゃん」豊橋に婿入して一週め、初めて同居させたその日から、一人前に本交尾を確認したとの、これまたうれし



迫るノじゅん君。



ネェ下りて来てよ。

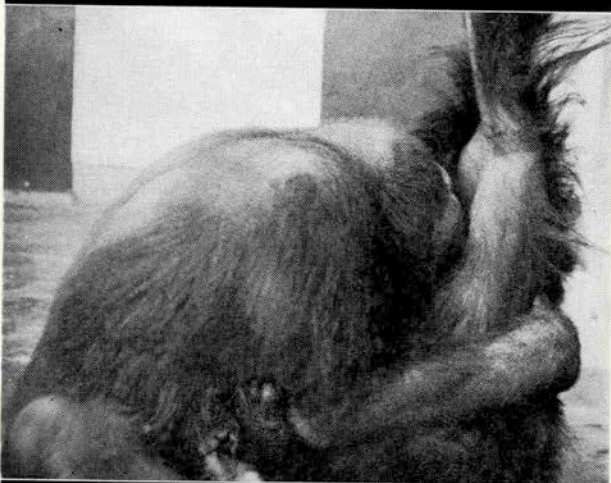
い知らせが届いたのである。

#### 「力づくのジュン」

一方、神戸の方へやってきたお嫁さんは6才、まだ初潮もなく、永久歯へ歯の生えかわりのさなか、体格的にも、オス「ジュン」は100キロを越し、やってきた嫁は6才体重35キロそこそこ。それでも、二カ月という見合生活の末、豊橋へ行った「ミニ」に先を越されてはと同居に踏みきったら、さあ大へん。「ジュン」はまるで飢えたけもの化し、我身の三分の一と小さいお嫁さんをまさに手玉にとつては「対面位」「背腹位」「横位」と、本交尾を力づくで要求し続け、メスの発情徴候も見ない若メスにインサートするのを目撃したのである。

◎オランウータンのメスの初潮は8~9才。性周期は約29~30日。生理時の出血は少く妊娠期間8.5カ月。

〔王子動物園学芸員／写真も〕



お見合い結婚だけど仲いいんだ。これキスシーン。

# おいしいものをよりおいしく料理して ヒゲのシェフがお待ちしております



## ビストロとお料理

ビストロはお酒本位の居酒屋でもなく、肩のはる高級料亭でもなく、いってみれば、食事のGURMANDとWINEのGOURMETの楽しい味の集いです。フランス料理で、国の名誉勲章を持つリヨン市の誇りシェフ、アレックスの正統を受けつぐヒゲのシェフ良平が、心をこめたお料理にまろやかなワインをお選びして、おすすめしています。

●お料理は、お召上りの時が大切です。ご予約が決まりましたら、ぜひお電話でご予約下さい。その時に合わせて、最もおいしく召上れますよう、用意してお待ち申し上げます。

フランス純リヨン料理の店

# ビストロ・リヨン Bistrot de Lyon

シェフ 山崎良平

●AM. 11:00~PM. 11:00 ●月曜定休(ただし祝祭日は営業します)  
●〒650 神戸市生田区山本通2-40-1 ☎078-221-2727

新年おめでとうございます。  
本年もよろしくお願い致します。



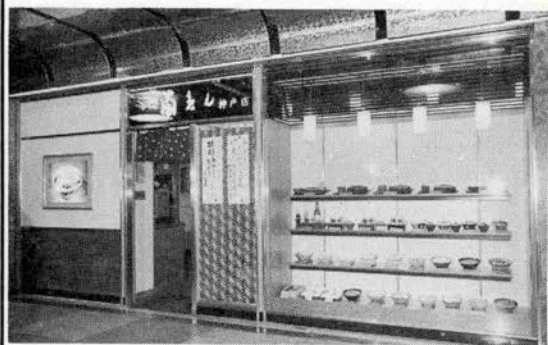
季節おりおりの新鮮な材料を  
取り揃えております。

ご家族づれで、親しいお友達同志で  
お気軽にお立寄り下さい。

わさおでん 季節料理  
花隈 森 本

料亭・花隈森本	(341)8017
本店 三宮ビル店	(251)6757
支店 さんプラザ店	(331)8713
支店 さんこうべ とんかつ店	(351)6035

明けまして おめでとうございます。



お持ち帰り用天ぷらうどん

ご家庭で、あったかい  
鍋焼きうどん、天ぷらうどんをどうぞ！

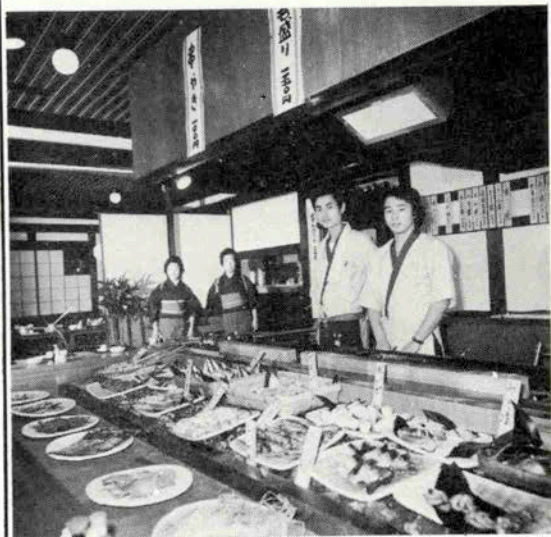
冬の味覚、牡蛎釜めし  
牡蛎鍋焼きうどんを始めました。

和 食 ・ 麵 類

蘭色し

さんちかタウン味ののれん街 (391) 5358  
本店・東京駅前八重州通

賀 春



昼のお食事☆焼もの みそ汁 お新香  
 ご飯たべ放題 ￥380  
 夜☆菊正宗￥200アサヒ生ビール￥260  
 炉端焼￥250 串やき￥100  
 つくも盛り￥150 鍋もの￥800より

元町 ニュートキョー二階にオープン

炉端焼

つくも

神戸市生田区三宮町3丁目24  
 TEL (391) 4511

世界最高の品質を  
 誇るアラガワの支店

謹賀新年

いろいろなパーティーに  
 ご利用下さい



レストラン

砂時計

正午 ~ 夜9時まで  
 (年中無休)

生田区山本通1丁目35  
 東洋ハイツ1階

TEL 241-1857

# □神戸を福祉の町に〈25〉

橋本 明

△社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽



売る方も買う方も汗びっしょり

## 成功した 愛の手バザー

毎週火曜日の神戸新聞の「あなたの愛の手を」の欄で家庭に恵まない子どもたちに里親家庭をさがしている「社団法人 家庭養護促進協会」は昨年の11月29日、初めての「愛の手バザー」を行った。

民間団体としての活動資金を募るのが目的であったが、それだけでなく、バザーを通して地元神戸の人たちに一人でも多くの活動を知っていただくというネライもあった。バザーの品物は神戸市内及び兵庫県下の里親さんたちが自主的に持ちよって下さったのを初め、元町やトアロードの商店から商品を提供していただいたり、神戸青年会議所の社会福祉委員会が中心になって会員から集めていただいたりした。また常盤女子高校の生徒会では有志が自分たちの手でかわいい数多くの手芸品をつくって提供してくれたり、ありあわせの布切れで素晴らしい人形をつくって持ってきてくださった中年のご婦人もあった。神戸市児童相談所をはじめ、多くの関係機関や施設からもずいぶん多くの援助をしていただいた。品物は当日までに食器、日用雑貨、衣類、オモチャ、文房具、食料品、手芸品、ケミカルシューズ、装飾品など多

種多様なものが約二万点も集まった。品物を分類したり、値段をつけたりするのとはほとんどが里親さんが中心になって行い、会場周辺の地域には神戸レオクラブの若いメンバーが一軒一軒バザーのチラシを入れて回ってくれた。

さて当日。初めてのバザーで、しかも国鉄のストと重なったため、果して人が集まるだろうかという心配もしたが、開場の午前10時前になると入口にズラッと数十人の行列が並び、開門と同時に婦人会館三階の狭い会場は人の波で身動きもできなくなってしまった。お手伝いをしていただいている里親さんたちは、血相を変えて安い品物にとびつく人たちの応待や整理に汗でビッショリ。昼頃までには品物の半分ぐらいが売れてしまった。

正午から午後二時までは、神戸新聞の「笑点」でおなじみのたかはしもうさんが筆をふるって似顔絵描きに大奮闘。もうさんの前には似顔絵料五〇〇円をにぎった子どもからお年寄りまでがズラッと並んで順番を待つ。大盛況のおかげで、もうさんは二時間の間、昼食もできず、トイレにも立てず、二十九人もの似顔絵をつぎつぎに描きあげた。時間切れで描いてもらえなかった人たちは残念がることしきり、また来年頼んマス！。

二時からは福岡康年さんの大奇術。風船、ロープ、ト

ランプ、ハンカチ、リングなどを使った手を変え、品を変えた見事な手品に大人も子どもも「アレレ」「オヨヨ」「フーン」「ナンデヤロー？」と目をバチクリ。

二時半から一時間ほど会場で子どもたちを対象にいろいろなゲーム大会。ボランティア協会兵庫ビュローの速水順一郎君の楽しいアイデアと協力で子どもたちも大人といっしょにバザーを楽しんだ。

午後四時頃には品物もほとんどが売り切れ、この日の収益金は約八十二万円。実に多くの人たちの協力で成功したこの「愛の手バザー」の純益は、これからの里親開拓活動に最も有効に使わせていただきますと思います。

ところで例年、秋から年末にかけていろいろな学校、施設、団体などがそれぞれバザーを行い、収益金を各々の活動に生かしているよ



右 ワタチ もうさんに似顔絵描いてもらってるの  
上 奇術で大奮闘の福岡さん



円の品物を二百円、三百円につり上げて買うことにより、そのお金が福祉活動にまわされる。いわばバザーは寄附のために開かれるものであり、参加者はみなそれをよく心得ている。日本のバザーのように押せや押せやの殺気だった雰囲気はなく、もつとゆとりや遊びの精神がある。バザーは彼らにとって遊びの場なのだ。ちよつとした集いやパーティなどで、誰がいうともなく帽子が回され、その中に参加者が少しづつお金を入れてまわるといふシーンは映画などでもよくみられるし、実際に経験された人もあるだろう。私も滞米中、インディアン・セ

ンターを訪れた時、一人のインディアン(インディアン)の学生が生活が苦しくて学資にも事欠いている現状を話すと、たちまち参会者の間にありあわせの小さな箱が回され、一人が一ドルずつ寄附をはじめ、その場で百ドル近い

お金が集まってその学生に手渡されるのを見て感激したことがある。日本ではなかなかこうもいくまいし、バザーでは大安売りをしなければ人も集まらず、収益もあがらないだろう。個人にしろ企業にしろ、公のためにお金や労力を提供することの苦手な日本ではやむをえないかもしれない。

しかし、私達協会の職員は第一回の「愛の手バザー」を通してずいぶん多くの人たちの暖かい協力や援助を受け、多くのことを学ぶことができた。誌上で心からお礼を申し上げると共に、これからもなお一層よりよい家庭や地域づくりのためにがんばりたいと思う。

うだが、どのバザーをみても日本で行なわれるバザーというのはバーゲンセールと変りがないようである。売方は市価の半額とか何割引きとかにするのが通例だし、買う方もバザーでは格安で品物を買えるものだと思ひ込んで来る。「たたき売り、たたき買い」が日本のバザーの性格のようで、バザーに集まる人たちは、果して自分が品物を買うことによって、そのお金を福祉活動に生かしてもらおうという気持ちが多少でもあるのかどうか疑問に思う。おそらくそういう気持ちで品物を買う人は稀である。欧米でバザーに参加した人は感じるところが、バザーというのは品物を市価より高く買う場所である。百

# 調和の美

寺井 秀蔵

（朝日ワールド企画開発室）

アルプスの山々に囲まれ、アイガー北壁のすそに広がった小さな町、グリンデルワルト。スウェーデンのゴーテンベルグから車で2時間ほど北上したところにある町ボラス。イタリアの西海岸北部ジェノバの東にある、サンマルガリータやポルトフィーノ。フランスの北部海岸ドーバー海峡に面したドービルの町。そしてフィレンツェの街角やパリ、ミラノ、ロンドンなどの街角で、ふと素晴らしい光景に出会うことがあります。

同じようなことが、たまたま入ったレストランや色々なお店でも感じられる時がよくあります。

なぜ美しいのか、素晴らしいのか、と考えてみるとそこには共通して「調和の美」があるからだと思います。そんな気持ち良さを、街を歩いている人々からも感じ取ることができます。

ファッションにおいても、その調和の美が最も美しく見えるし、着ている人も多分気持ちよく着ているだろうし、すれ違う私自身も、ふと振りかえりたくなる美しさとは、全体の「調和の美」にほかならないと思います。

着る人と服の調和、着ている人とスカートの丈の調和、持つ人と持つ物の調和……服だけについて考えても、上下の調和のよさ、すなわち着方―組み合せ方こそ、ファッションの美なのだと思います。もちろん、そこには人、ヘアスタイル、靴、その他の小物も入ってくるのですが……。

私が初めてヨーロッパへ行った時からいつも感じてい

るのは、このことが比較的上手だということです。もちろん最近の日本でも、人々の着方や、お店などでその美しさを感じることが多くなりましたが……。

私自身、以前は「これが良い」と思えばそれだけだったように思いますが、最近はその目的、気分などのロケーションによって「良い物」が多くあることに気づくようになりました。そして日本人の暮らしぶりを見ていると、このロケーションが比較的画一化されていた以前とは変化してきて、若い人々の中にはいろんなロケーションを楽しんでいるようにさえ見えることが多くなってきたように思います。同じ人でも会社、家庭、山、海、街、旅行、趣味などのロケーションによって着たい服も変わるのとは当然なことのように。

ですから、あまりにも流行一辺倒の考え方は危険です。もっと自分を大切にしたい、おしゃれの方が似合うのではないのでしょうか？（流行無視ということではなく、どこに、何に、新しさを取り入れるかが問題だと思われるのです。そして、どこまで取り入れるか？といったポイントの方が重要だと思うのです）

あとは予算によって考えることです。また、この着方は、ある程度買い方によって大きく変わってきます。買う前に今年のシーズンはどんな着方を自分はやりたいのか、それをよく考えることです。そのためには、より多くの着方を目に入れること。雑誌でも、街を歩いている人でも、何からでもよいから選ぶことです。そして買う



フロレンスにて 筆者



♪エマニエル？ブティックの名です



♪流行をほどよく取り入れたご婦人がた



♪街のたたずまいとヨットハーバーの調和

時にも、専門店の方と話し合い、自分の知識、センスを見る眼を育てていくことだと思っています。

一つの組合せで、あれもこれも欲げると、どう見ても美しさを感じられない組合せになる危険があります。あくまで「調和の美」が問題なのです。色についても、柄についても同じことがいえますし、デザインについても同じことが当然いえます。ヨーロッパでアメリカ人に会うとすぐ解るのは、この点がT O O H E A V Y なのと長繊維が多いことからです。(ここで長繊維のことが出たついでに) 合理的に考え、イージーケアや長く持つためには長繊維はすばらしい繊維です。しかし風合いや深味などファッショ的に考えるならば天然繊維に勝る繊維もまた無いと思います。その用途、自分の暮らしぶりに合せて選べばよいと思います。

「調和の美」をもっと考えるならば、同じジャツカラーのブラウスでも、ボタンの開け方や衿の大きさ、カーブによって良く見えたり、あまり美しくなかったりするものです。又、組み合わせがよくても、色柄が良くても、着てみて自分に合わない丈ではだらしなく見える物です。

今年になってスカート丈は短くなってきたように書かれています。昨年、その前の年も、パリやミラノでは最も受け入れられていたのはヒザがちょうど隠れる丈でした。昨年の秋も、今年の秋も、日本の女性がなぜ、あんなに長い丈のスカートをはくのか不思議です。やはり美しく見せてくれるのはチャネルの出したヒザ丈だと思いますが……。

「調和の美」こそ最も着手を美しく見せるポイントです。買う時もそのことを忘れず、すばらしいおしゃれを楽しんでください。

## ●1月マンスリーサロン

1月14日<第1水曜日>

県民会館 902号 午後6:00~9:00

「味と群れ」

講師 田中 国夫

<関西学院大学社会学部教授>

一般聴講者は会費 ¥1,000

## ●2月マンスリーサロン

2月12日<第1水曜日>

県民会館 午後6:00~9:00

「未定」

講師 コシノヒロコ予定

<デザイナー>

一般聴講者は会費 ¥1,000

## ●会員だより

### ★Aグループ倉敷への旅



白壁と黒い屋根瓦の屋敷の立ち並ぶ倉敷は、古風でハイカラでした。

ひっそりと静かなたそがれ時、柳が揺れる倉敷川一帯を散策、その夜は、つたにからまる赤れんが造りのアイビスクエアに泊してアンティークムードを満喫しました。翌日は、民芸館、美術館、考古館めぐりをし、民芸品の店をのぞいたりして、文明開化の時代を偲びながら帰神しました。

一行は、Aグループ柿本、河上両夫妻、小笠原、市野木の面々です。

★パリからのエアメール 藤本ハルミ

久々のパリは初冬のきびしさの中にも、少しも変らぬ姿で私を迎えてくれました。何百年も昔から、自分たちの衣裳を着ているという歴史と自信に支えられ一見地味に見えるパリジャンのなんとシックでエレガンスなその姿！

パリ在住の市田KKの小野さんが「パリにファッションはない。あるのは輸出産業としてのファッションだ」といいきられた言葉が印象的でした。

日本人は、やっと自分たちの衣裳となった歴史の浅い洋服というものに対して、革命を起しつつあるのではないのでしょうか。ケンゾウもイッセイも日本中の心あるデザイナーは今、日本人のための衣裳を一生懸命つくりつつあるように思います。パリはパリらしく神戸は神戸らしくいきいきと楽しいファッションを競いましょう。

## ★K.F.S.メンバーによるP.R.

カット&パーマ

シオン美容室

酒井正子

神戸市長田区川西通4ノ11

PHONE (078) 691-1779

デザインルーム

ナカハラ

中原 武志

神戸市生田区元町通2丁目37 村田ビル

Phone (391) 4768

室内を演出する

神戸装飾株式会社

神戸市生田区中山手通2丁目64ノ4

三宮販売部 Phone (331) 0557

神戸もとまち

大 丸

Phone 神戸 (078) 331-8121

ミセスのための婦人服

Vert ヴェール

伸和スタイル株式会社

神戸市葺合区生田町3丁目17

Phone (241) 8691

チョコレート

モロゾフ株式会社

神戸市東灘区御影中町6丁目11番19号

Phone (851) 1594

コウベセンスで創る婦人靴  
株式会社

TUKASA ツカサ

神戸市長田区細田町5丁目2ノ28

神戸化学センター5F Phone (691) 7739

株式会社 阿曽理容店

神戸営業所 神戸市葺合区浜辺通5ノ2ノ1

神戸商工貿易センタービル11F

Phone (251) 3010

株式会社 理容アソ

大阪市北区小松原27 富国生命ビル1F

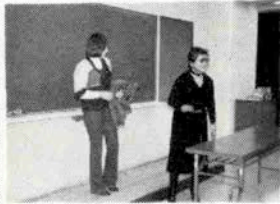
Phone (331) 2214

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ  
 <神戸のファッション都市化をめざす>

# K. F. S. news 4

事務局/神戸市生田区元町通2丁目37村田ビル  
 デザインルームナカハラ内 TEL 391-4768

## K. F. S. 主催 第1回 《女性のための》 ファッション講座好評終了



左より「靴の選び方」を話す栗原俊二会員/中上「暮らしとパン」の武安正彦講師/中下は「ファッションと洋菓子」松宮隆男会員/右上「ファッションコーディネート」の小川梢講師/右下は「住いの改造」高月昭子講師

10月号で予告しましたように、第1回女性のための“ファッション講座”が11月14日より12月5日までの火曜日と金曜日6回にわたって開催されました。募集期間が短かったということもあって当初の予定より少なく30数名の応募でしたが、毎回大変熱心に受講され11月5日には27名に修了証書が手渡されました。受講者の中には洋菓子、シューズ、美容、インテリア等の講座とファッションとの結びつきに当初

とまどいもみられましたが、受講を続けるうちに本当の意味のファッションが理解されていったようです。

受講後のアンケート調査では、受講者の層によって講座への期待度が違うが、一人を除き満足だったと云う回答が寄せられている。又次回からは、1週1回で6回ないし8回の講座にしてほしいという希望が多く、“こんな素晴らしい講座をもっと多くの人に知らせたい”という声や、“神戸に住んで

いるという実感を味わった”という声もありました。

＜中原武志＞

＜受講者名＞

坂口朋子、春次子、山本珠美、山川代子、肥塚典子、速水愛子、福井基子、黒田雅子、藤原はつみ、山口末子、藤永圭子、北川泰子、平田玲子、足立幸子、松野良江、清瀬喜美、藤金ヤスコ、大西喜久子、横浜恵美子、望月真佐子、伊藤ちづ子、森本里美、伊藤和子、松岡豊子、森田理江子、吉田清子、上月智恵子のみなさん。

# 異国情緒神戸で楽しめる情熱的な西班牙の夜

エキゾチックコウベ

ロマン

スペイン

play house《すぺいん広場》

## スペイン広場

神戸市生田区北長狭通2丁目1-3

三宮生田筋金剛山西入

TEL. 1F 391-0375・2F 391-3443

営業時間 PM 6:00 ~ AM 2:00



3F じゅうたんしきつめたスペインフロア  
踊って…



2F 落ちついたスペインサロン  
おしゃべりして…



1F 気軽なスペインパブ  
飲んで…

### ●メニュー

水割り(オールド) ¥ 300.  
ビール(小) ¥ 300.  
フィズもの各種 ¥ 300.

### ●お食事

スペインスペシャル  
(オードブル・スープ・エビ・  
肉・サラダ・コーヒ) ¥1,200.  
スパゲティ  
ピラフ } 各 ¥ 500.  
グラタン

# ★神戸の集いから

●美佐女史を囲む会

久方ぶりに書道家の望月美佐さんが地元神戸で個展を（十一月二十五日～三十日まで三越の六階催会場）開き、心の書、装いの書、くらしの書」をテーマにした



人気ものの望月美佐さんを囲むなごやかな集い。右は坂井知事・石井一議員。

書、きもの、帯、壺、皿、陶板などの手描きの一品オリジナル作品が、エネルギーに並べられた。

初日のオーブンは、石野成明、河合三、小池義人、福田義文四氏が世話人となって「美佐女史を囲む会」を催し、筆塚への祝詞が小池住職によってあげられたり、高橋もうさんによる「モウ想マンガショー」や、若手落語家による「お笑い大全集」、堀椰子さんのシャンソンなど盛り沢山のプログラム。

坂井知事、石井一、長島隆、佐野蓮實、森本泰好、新谷秀雄、松本尚女、松本尚時、野木良郎、梅晴夫さんら多数の先輩、友人、子弟が集って美佐さんらしい活気ある集いだった。

●同志社百年を祝って  
校友会神戸支部が集う

同志社創立百周年を記念して全国各地で校友会支部の祝賀会が開かれているが十二月七日夜、北野町のセントジョージ・ジャパンで神戸支部クリスマスパーティーが開かれた。

中村友一同志社本部常任理事（御影貿易社長）の検



同やんがセントジョージに大集会

撈て開会、巽悟朗校友会長（光世証券社長）の祝辞のあと石田忠章同志社神戸支部幹事（清浄野菜専務）の司会、西村ユリのエレクトーン、永田かつ子の歌をバックにひとときがもたれ、また宝石、洋酒など卒業生寄贈品のオークションでは和やかな光景が見られた。

当日は五十名が集ったがそのなかには山本泉山勝真珠社長、鳴坂健二山陽電鉄社長、原忠明飛鳥建設神戸支社長、長部謙吾長部建設社長、佐々木章佐々木真珠社長、今井鎮雄神戸YMC A総主事らの顔も見えた。

●小泉パーティーオーブンは

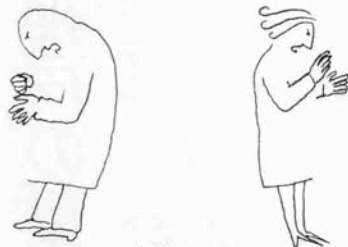
不況時代だが結婚式は相変らず賑やか。その縁結びをと、本誌を退社後、結婚相談所を開くと準備中だった小泉正己（52）氏が、十一月二十日よりニューポートホテル一三〇号（神戸市貴合区浜辺通六丁目三ノ十三番二五二一三八〇）室に事務所を開設。そのオープニング披露パーティーが開かれた。

当夜は、古林喜楽、中西勝、たかはしもう、佐藤廉赤根和生氏ら約五〇名が出席した。若い男女で結婚のチャンスをお望みの方はご入会を。

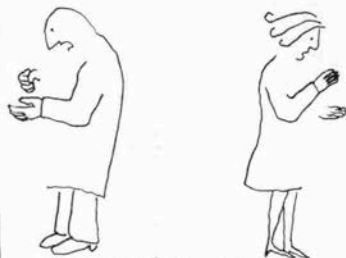


小泉パーティー店開き（右）小泉正己さん

# さあ うたいましょう ①



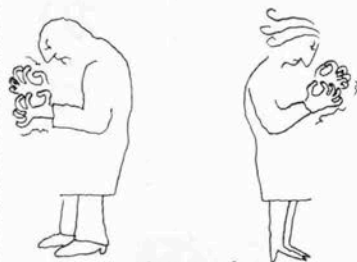
てをうって



てをうって

むすんでひらいて

立部省唱歌



そのてを



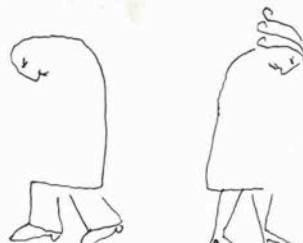
むすんで



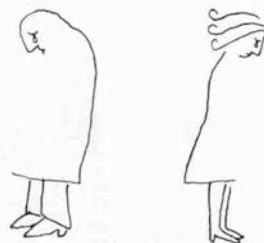
むすんで



うえに



またひらいて



ひらいて

おかだ・じゅん

さあ うたいましょう 2

どうさん

詞 まど・みちお

どうさん

どうさん

おはなが

ながいのね

そうよ

かあさんも

ながいのよ



おかだ・じゅん